

ICTを活用した立入検査

埼玉県南西部消防局

埼玉県南西部消防局では、今年度からタブレット及びモバイルプリンタを活用した立入検査を開始しました。

これは、立入検査時に関係者へ交付する立入検査結果通知書について、従来の手書きでの作成に加えて、タブレットで入力したものをモバイルプリンタで出力可能にしたものです。違反の主な指摘事項については、事前登録し、選択可能としたことでタブレットでの入力負担が軽減され、立入検査の事務効率化につながりました。

今後も引き続き、立入検査の効率化及び質の向上に努めます。



本部日勤救急隊の運用を開始

豊橋市消防本部

豊橋市消防本部では、6月30日（木）に本部日勤救急隊の発足式を行いました。

救急需要が集中する日中の救急体制を強化するため、中心市街地に位置する中消防署に、本市9隊目となる救急隊として発足しました。

本部日勤救急隊は、育児休業から復帰した女性職員や再任用職員が新たに輝ける活躍の場として、働き方改革推進の一躍も担っています。

7月1日から運用を開始、より迅速な救急サービスの提供を行い、救急救命体制の充実を図ってまいります。



消防通信

望

楼

ぼうろう

各機関合同で土砂災害シミュレーション訓練を実施

東大阪市消防局

東大阪市消防局では、令和4年5月18日（水）、土砂災害時の初動体制強化を目的に、災害現場で連携して活動する警察や各行政機関が参加し、シミュレーション訓練を行いました。

訓練は、豪雨による土砂崩れで住宅が埋没したとの想定で、災害時の各機関の役割分担や活動内容を出し合い検討することで、顔の見える関係を作るとともに、情報共有を図り、災害時の共通認識を持つことができました。

今後もこのような訓練を通じて、様々な災害に備えてまいります。



救急車の適正利用啓発ポスターを作製しました！

尼崎市消防局 西消防署 武庫分署

尼崎市消防局では、9月9日の「救急の日」に向け、救急事情を広く市民に知ってもらうため、救急車適正利用の促進や予防救急に取り組んでいます。

尼崎市西消防署では署員から作品を募集し、尼崎市防火協会西支部の協力のもと啓発ポスターを作製しました。「【あなたならどうする！】をテーマに救急車が本当に必要かどうかを一人一人に問いかけるようなデザインにしたい。」という想いで作製されました。

ポスターを掲示することで救急車の適正利用の一助になることを願っています。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】